

2024年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
232132088	商品開発論	館和彦		専門	2	選択	3後期

科目の概要

DP2に記載されている疾病・疾病予防・食育に関する専門知識・技能を身に付け、豊かな食生活と健康を創造することができる管理栄養士の育成を目指します。また、DP1記載の建学の精神、社会人基礎力、pisa型学力を修得して課題を解決していくことができるよう、学修の取り組み姿勢を通してその基盤も形成します。

この科目では、管理栄養士にプラスαとなる「商品プランナー」資格を取得します。商品プランナーは、消費者のニーズを敏感にキャッチし、満足感を与える商品を企画・開発し販売を行う際に必要となる基礎的知識を修得した者に与えられる資格です。所定の学修内容（商品企画・開発の基礎、商品マーケティングの基礎、商品開発におけるコミュニケーション・プレゼンテーションの基礎）を修得した後、日本商品開発協会が実施する認定試験に合格することで、商品プランナーの資格が得られます。

学修内容	到達目標
① 商品企画・開発の基礎を学び、実践的な技能を修得する。 ② 商品マーケティングの基礎を学び、実践的な技能を修得する。 ③ 商品開発におけるコミュニケーション・プレゼンテーションの基礎を学び、実践的な技能を修得する。 ④ 「商品プランナー」資格試験に合格するために、講義内容の復習をしっかりと行い、理解度は実際の過去問を回答し確認する。	① 商品企画・開発でよく用いられるアイデア発想法・KJ法を活用し、売れる商品を提案できる。 ② 商品マーケティングを理解し、ショップウオッチングとヒット食品調査から、販売促進案を提案できる。 ③ コミュニケーションの円滑な進め方を列挙でき、プレゼンテーションはアイドマ理論を活用して、企画実践できる。 ④ 講義内容の復習テストを次週に行い、問題の80%以上を正答できる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	授業で学んだ内容について、テキスト以外の情報源も参考にして自主的に復習する。
	働きかけ力	授業は先生と学生による協同作業であると理解し、協同の輪を広げるように他の学生に働きかけている。
	実行力	不明な点があるときは積極的に教員に質問する。
考え抜く力	課題発見力	授業内容や教科書で理解できなかった事柄、疑問点を見いだす。
	計画力	課題提出に対しては、余裕を持って確実に成し遂げられるよう無理のない計画を立てている。
	創造力	与えられた課題に真摯に取り組み、売れる商品の企画を役立てる。
チームで働く力	発信力	教員からの問与えられた課題に真摯に取り組み、売れる商品の企画を役立てる。いかげや課題発表において、積極的に発言する。
	傾聴力	グループワークでは、メンバーとの情報交換を活発に行い、相手の考えを理解する。
	柔軟性	相手の意見や考え方を取り入れて、自分の意見や考え方をより良いものに修正する。
	状況把握力	授業において、必要な姿勢・態度を選択し、行動している。
	規律性	自分の都合を優先することなく集団のルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	ストレスを一人で抱えるのではなく、友人や先生に相談する。

テキスト及び参考文献

テキスト：「商品開発学 商品はこうしてつくる」 小塩稲之 一般財団法人販路コーディネーター協会
プリントを配布する。

【椋山女学園大学 商品開発論授業LIVEレポート】www.sugiyama-u-live.jp/teachings/product_development.html

他科目との関連、資格との関連

「商品開発論」は、アップグレード分野・資格関連に位置づけられる科目である。この科目では、管理栄養士にプラスαとなる「商品プランナー」資格の取得を目指す。また、同時期に履修する「専門実践実習」と関連させながら理解を深め、その後に実施する「卒業研究」でも活用できる科目である。

学修上の助言	受講生とのルール
講義内容について、理解しにくい箇所があった場合は、教員に聞くか、テキスト以外の情報入手し理解するとよい。また、講義で学んだことを基に、興味をもった食品について、消費者の立場から商品チェックするとよい。商品の企画、開発に役に立ちます。	「商品開発論」は、商品プランナーの資格取得を本気で目指す。そのため、講義内容の予習、復習を十分に行うようにすること。また、商品プランナー技能を修得するために行う調査・課題に主体的に取り組み、発表すること。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	60	①	✓	1) 評価方法 【知識の獲得（50%）】 ・「商品プランナー」資格認定試験に準じた問題を出題し、商品開発のプロセス、マーケティング、プレゼンテーションなどの基礎知識の理解を評価する。 【知識の活用（25%）】 ・商品マーケティングを理解し、ショップウオッチングとヒット食品調査から、販売促進案を提案できるか評価する。 【課題の解決（25%）】 ・商品企画・開発でよく用いられるアイデア発想法・KJ法を活用し、売れる商品を提案できる。	
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
	平常評価	小テスト		10	①	✓	・講義の翌週、学修内容に合わせた「復習テスト」を実施する。
					②	✓	
					③	✓	
					④	✓	
		レポート		20	①	✓	・食品ポジショニングマップの作成（各自でシート提出） 評価：商品写真の貼付、商品比較の指標、嗜好性、棲み分け、0～5点 ・ヒット食品の調査（グループでパワポ作成） 評価：商品写真の貼付、商品特徴・ヒット要因の記載、0～5点 ・飲食店ショップウオッチング（各自でシート提出） 評価：選定理由、メイン商品とお薦め商品、顧客層や消費動向、0～5点 ・食品業界の調査（グループでパワポ作成） 評価：市場規模、消費動向、市場シェアと有力商品、業界の動向、0～5点
					②	✓	
					③	✓	
					④	✓	
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		0	①		
					②		
					③		
					④		
学修行動	社会人基礎力（学修態度）		10	①	✓	（主体性） ・自主的に学習を実行しているかどうか。 （実行力） ・不明な点があるときは積極的に教員に質問しているか。 （課題発見力） ・理解できなかった事柄、問題点を見いだしているか。 （創造力） ・売れる食品を企画する意思があるかどうか。 （発信力） ・教員からの問いかけや課題発表において積極的に発言しているかどうか。 （傾聴力） ・班員との情報交換を活発に行い、相手の考えを理解できているかどうか。 （規律性） ・チームワークを重んじているかどうか。	
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S(秀)：商品開発のプロセス、マーケティング、プレゼンテーションの基礎知識を完璧に修得している。調査した内容や作成したパワポは、指示通りのもので深く考察できている。発表では、十分理解した上で説明できている。</p> <p>A(優)：商品開発のプロセス、マーケティング、プレゼンテーションの基礎知識をほぼ修得している。調査した内容や作成したパワポは、指示通りのものである。発表では、内容の説明ができている。</p>	<p>B(良)：商品開発のプロセス、マーケティング、プレゼンテーションの基礎知識を概ね修得できている。調査した内容や作成したパワポは、ほぼ指示通りのものである。発表では、内容の説明ができている。</p> <p>C(可)：商品開発のプロセス、マーケティング、プレゼンテーションの基礎知識について、一部修得できていないものがある。調査した内容や作成したパワポは、概ね指示通りのものである。発表では、何とか内容の説明ができている。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	I 商品・サービス企画の基礎： 新商品開発の基本（1章）、 商品開発のプロセス（2章）を理解する。	講義 ディスカッション google classroomによる資料配信、質問の受付	商品開発のプロセス5つの確認を理解している。	（予習）無限の可能性への道、シラバス、教科書p（11-17）を読み本時の授業に臨む。 （復習）第1週の授業要点について、復習テストを行うため復習をしておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	I 商品・サービス企画の基礎： 市場調査とデザイン志向（3章）を理解する。	復習テスト・解答及び解説 講義 ディスカッション google classroomによる資料配信、質問の受付	製品購入態度による5つの分類を理解している。	（予習）教科書p（18-31）を読み、授業シートの予習課題を行う。 （復習）第2週の授業要点について、復習テストを行うため復習をしておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	食品のポジショニングマップ作成	復習テスト・解答及び解説 演習 グルークワーク ディスカッション google classroomによる資料配信、質問の受付	ポジショニングマップが作成できる。	（予習）教授業シートの予習課題を行う。 （復習）次週ポジショニングマップが発表できるように、完成させておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	コンセプトの発表 I 商品・サービス企画の基礎： 商品開発のコンセプトメイキング（4章）、商品開発のコンセプトメイキングの事例1（5章）、商品開発のコンセプトメイキングの事例2（6章）を理解する。	ポジショニングマップの発表 講義 ディスカッション google classroomによる資料配信、質問の受付	ペルソナ、ゴール、シナリオを理解している。	（予習）教科書p（32-54）を読み、授業シートの予習課題を行う。 （復習）第4週の授業要点について復習テストを行うため復習をしておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	I 商品・サービス企画の基礎： 商品開発ネーミング（7章） 商品開発パッケージ（8章） 商品開発デザイン（9章） を理解する。	復習テスト・解答及び解説 講義 ディスカッション google classroomによる資料配信、質問の受付	ネーミングの企画、パッケージの機能について理解している。	（予習）教科書p（55-70）を読み、授業シートの予習課題を行う。 （復習）第5週の授業要点について復習テストを行うため復習をしておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	コンセプトメイキング	復習テスト・解答及び解説 演習 グループワーク ディスカッション google classroomによる資料配信、質問の受付	コンセプトメイキングの重要性を理解している。	（予習）授業シートの予習課題を行う。 （復習）次週コンセプトが発表できるように、完成させておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	II マーケティングの基礎： 商品開発ものづくりとことづくり（1章）、 商品開発マーケティングの基礎（2章）	発表 講義 ディスカッション google classroomによる資料配信、質問の受付	マーケティングとセリングの違いを理解している。	（予習）教科書p（71-82）を読み、授業シートの予習課題を行う。 （復習）第7週の授業要点について復習テストを行うため復習をしておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	II マーケティングの基礎： 商品開発マーケティングミックス（3章）1～5	復習テスト・解答及び解説 講義 ディスカッション google classroomによる資料配信、質問の受付	4Pと4Cを理解している。	（予習）教科書p（82-92）を読み、授業シートの予習課題を行う。 （復習）第8週の授業要点について復習テストを行うため復習をしておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	635法、KJ法の実施	復習テスト・解答及び解説 演習 グループワーク ディスカッション google classroomによる資料配信、質問の受付	635法、KJ法のやり方を説明できる。	(予習) 授業シートの予習課題を行う。 (復習) 次週アイデアを発表できるように、完成させておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	ポジショニングマップの発表 II マーケティングの基礎：商品開発マーケティングミックス (3章) 6～8	発表 講義 ディスカッション google classroomによる資料配信、質問の受付	3C、SWOTを理解している。	(予習) 教科書p (92-98)を読み、授業シートの予習課題を行う。 (復習) 第10週の授業要点について復習テストを行うため復習をしておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	II マーケティングの基礎：メーカー視点の販売促進策の事例 (5章)、店頭マーケティングとその事例 (6章)、メディアとイベント (7章) III 商品開発におけるコミュニケーション・プレゼンテーションの基礎：店頭マーケティングとその事例 (1章)	復習テスト・解答及び解説 講義 ディスカッション google classroomによる資料配信、質問の受付	店頭販売促進策を理解している。	(予習) 教科書p (104-44)を読み、授業シートの予習課題を行う。 (復習) 第11週の授業要点について復習テストを行うため復習をしておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	ヒット食品調査	復習テスト・解答及び解説 演習 グループワーク ディスカッション google classroomによる資料配信、質問の受付	ヒット食品の調査法を理解している。	(予習) 授業シートの予習課題を行う。 (復習) 次週調査結果を発表できるように、完成させておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	ヒット食品の発表 III 商品開発におけるコミュニケーション・プレゼンテーションの基礎：商品開発コミュニケーションの基礎 (2章)、商品開発ビジネスコミュニケーションスキル (3章)、プレゼンテーションの基礎 (4章)、アйдマ理論によるプレゼンテーションスキル (5章)	発表 講義 ディスカッション google classroomによる資料配信、質問の受付	プレゼンテーションの基礎について理解している。	(予習) 教科書p (117-134)を読み、授業シートの予習課題を行う。 (復習) 第13週の授業要点について復習テストを行うため復習をしておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	食品業界の動向調査	復習テスト・解答及び解説 演習 ディスカッション google classroomによる資料配信、質問の受付	食品業界の動向について調査法を理解している。	(予習) 授業シートの予習課題を行う。 (復習) 他の班の発表を聞いて、食品業界の動向を理解しておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	IV MMPコミュニケーション・プレゼンテーションの基礎：マネージメントマーケティングの基礎 (1章)、「MMP」の実践事例 (2章)	復習テスト・解答及び解説 オンデマンドでの講義 ディスカッション google classroomによる資料配信、質問の受付	ポピュラーなアイデア発想法を理解している。	(予習) 教科書p (135-149)を読み、授業シートの予習課題を行う。 (復習) 第15週の授業要点について復習テストを行うため復習をしておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力